

# 羽田ランプ橋の概要

## OUTLINE OF THE HANEDA RAMP BRIDGE



福井 康夫

### SYNOPSIS

Haneda Ramp Bridge will be constructed in the central area of Haneda Airport as part of the Bay Route of the Metropolitan Expressway. Our company has undertaken the task of fabricating, transporting and erecting this 171m long 4-span continuous steel box girder bridge, from the Kanto Construction Bureau of the Ministry of Construction.

The main characteristics of this bridge are the welding connection of the box web to the lower flange, which is executed in site and the inclined external webs, which accentuate the impression of slenderness of the girder.

#### 1. まえがき

東京湾岸道路は、東京湾の沿岸に沿って、横須賀から横浜、川崎、東京、木更津を経て、富津に至る160kmの路線である。このうち、羽田地区の道路整備は、約5.2kmで東京国際（羽田）空港のほぼ中央部に計画されているもので、空港ターミナル部への入出路、環状8号線・空港アクセス道路との交差などである。

本橋は、当地区のほぼ中央に位置し、ターミナル北連絡橋との合流部である。

なお、湾岸道路の断面は、中央部に首都高速道路湾岸線（6車線）、一般国道357号（6車線）が構築され、標準の総幅員は100mである。

#### 2. 工事概要

工事名：羽田ランプ橋上部（その6）工事

路線名：首都高速道路湾岸線

工事箇所：東京都太田区羽田空港地先

工事発注：関東地方建設局 川崎国道工事事務所

形式：鋼4径間連続箱桁橋

施工内容：橋長171mの内、J7よりA2まで80m（230ton）の、製作、輸送、架設

工期：平成2年11月20日より平成4年1月31日

羽田地区の概要、および、羽田ランプ橋の断面図を図1～2に示す。

#### 3. 本橋の特徴

本橋の現場継手としては、景観重視の面より、外観ウェブおよび下フランジについては溶接を、そのほかの部分についてはH.T.B.を用いる混合継手が採用されている。

#### 4. あとがき

以上、本工事の概要を述べた。本橋は、現場継手の一部に溶接を使用しているので、溶接に伴う収縮、キャンバーへの影響、溶接順序および溶接方法等に関して種々検討を加える必要があるものと考えられる。

今後、景観面から採用が促進される継手形態であり、設計、製作、架設の各部門の技術向上に寄与することを期待する。

#### 参考文献

1) 関東地方建設局・川崎国道工事事務所：羽田地区計画概要(HANEDA)

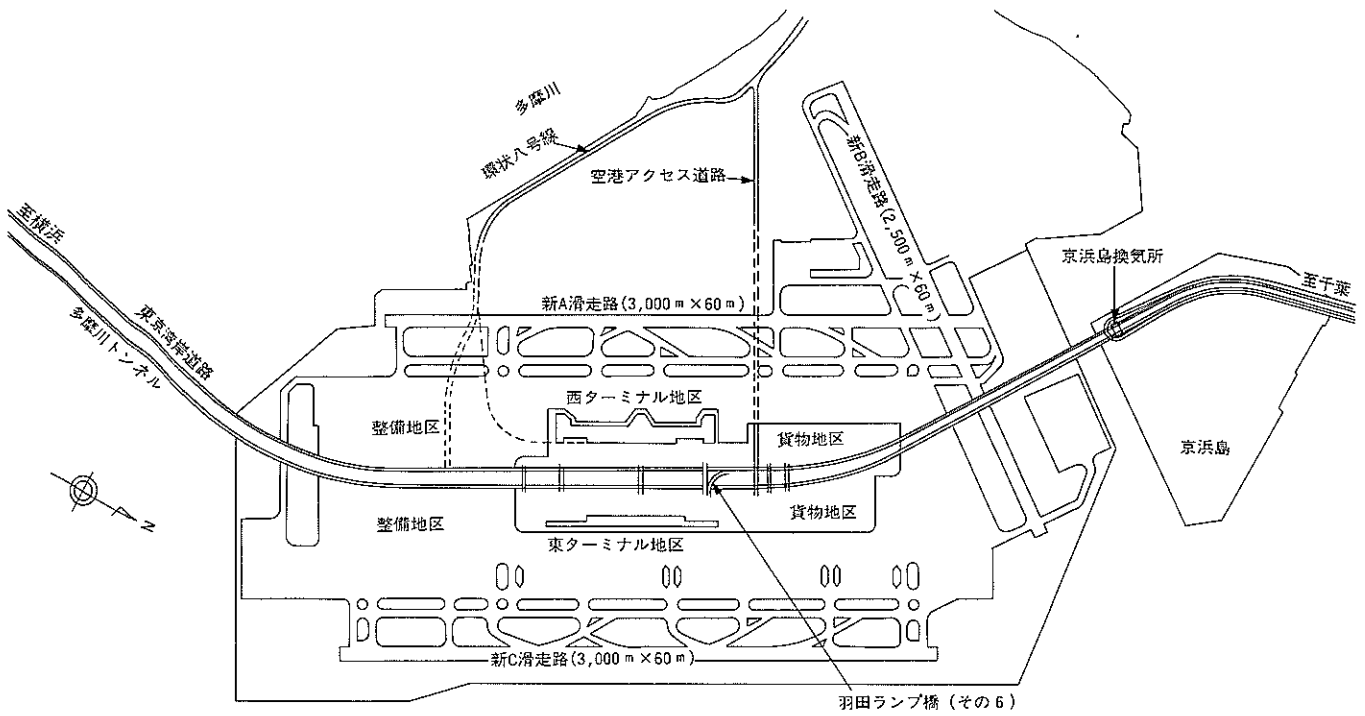


図-1 位置図 (空港整備完了後)

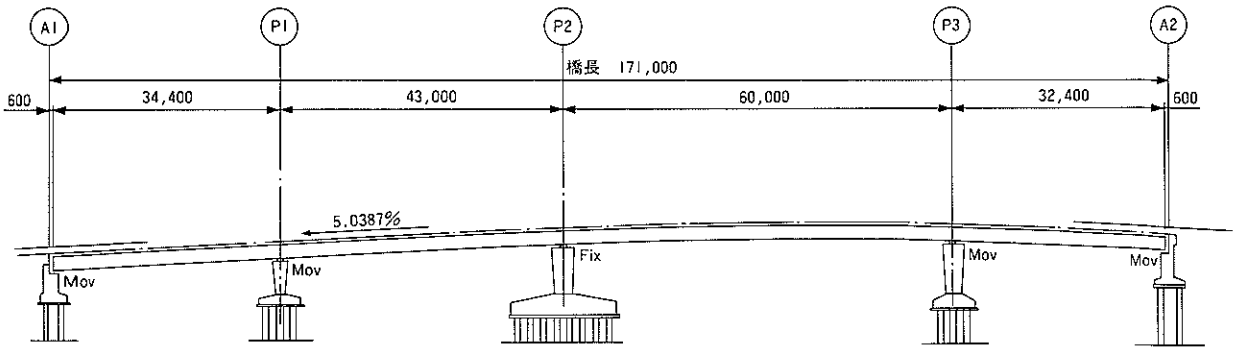


図-2 (a) 側面図

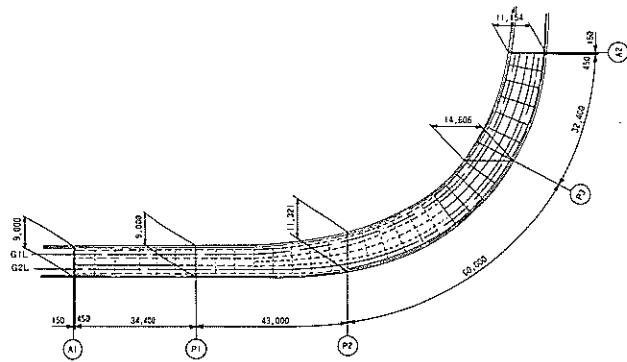


図-2 (b) 平面図

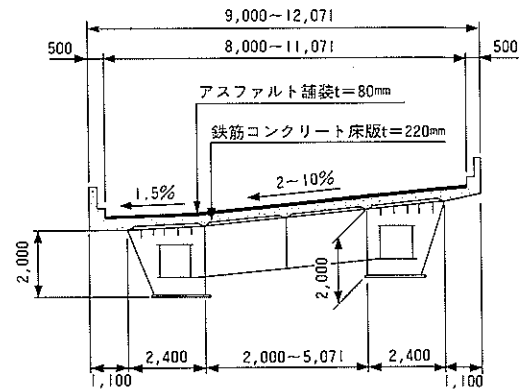


図-2 (c) 断面図

図-2 一般図